

平成 23 年 7 月 29 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は生産活動が弱含み、雇用情勢も低調に推移するなど、全体として厳しい状態が続いているものの、観光関連は上向き、個人消費にも持ち直しの動きがみられる。

生産活動は、電子部品関連が弱含み、食品関連は伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額が前年をわずかに上回った。新車販売台数（乗用車・軽自動車）は震災の影響により大きく落ち込んだ状態が続いているものの、減少幅は前月より改善した。投資関連では、公共工事、民間建築工事、住宅着工いずれも前年を下回った。観光入り込み客数は、九州新幹線全通効果により前年を上回った。

【生産活動】 … 弱含み

電子部品関連は、弱含んでいる。原材料調達はほぼ震災前の水準に戻ったが、受注の動きは依然弱い。

6月の**生コン生産（出荷量）**は、公共工事向け出荷は前年を下回ったものの、民間工事向け出荷は前年を上回り、全体で前年比 9.4%増となった。

6月の**紙パルプ生産**は、5カ月連続で前年を上回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

焼酎の生産・出荷は前年割れが続いているものの、九州新幹線全通効果により土産品に動きがみられる。

5月の**かつお節生産**は、4カ月ぶりに前年を上回った。

【畜産関連】 … 持ち直している

肉用牛（和牛）の枝肉相場は低調に推移している。一方で、子牛価格は宮崎など県外農家の子牛購入意欲が強く、一昨年水準を上回った。豚肉相場は枝肉の出荷量減少により、堅調に推移している。プロイラー相場は前年を上回る水準で推移している。一方で、鶏卵相場は前年を下回っている。

【消費関連】 … 持ち直しの動き

5月の大型小売店（百貨店・スーパー）販売は衣料品はほぼ前年並み、飲食料品は前年を上回った。節電関連商品にも動きがみられ、全体では0.7%増と5カ月連続で前年を上回った。

6月の乗用車新車販売台数は、23.9%減と9カ月連続で前年を下回った。メーカーからの供給不足は続いているものの徐々に回復しており、減少幅は縮小しつつある。車種別にみると、普通車は27.2%減、小型車は21.0%減となった。また、軽自動車も25.6%減と9カ月連続で前年を下回った。

【観光関連】 … 上向き

6月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、25.8%増と前年を大幅に上回った。鹿児島地区、指宿地区ともに九州新幹線全通効果により前年を上回った。特に指宿地区は関西・山陽・福岡など新幹線沿線からの入り込みが伸び、前年を大幅に上回った。また霧島地区も山陽や福岡からの入り込みが増えるとともに、韓国からのゴルフツアーなど外国客も伸び、10年8月以来10カ月ぶりに前年を上回った。種子島・屋久島地区は、団体客が増加し前年を上回った。6月の主要観光施設入場者数は、九州新幹線全通効果によりほとんどの施設で前年を上回った。

【投資関連】 … 一部で持ち直しの動き

6月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

5月の民間建築工事は、件数、床面積、工事費予定額いずれも前年を下回った。5月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を上回ったものの、貸家、分譲は前年を下回り、全体で25.9%減と2カ月ぶりに前年を下回った。6月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、前年を上回った。

【貿易関連】 … 輸出は持ち直しつつある

5月の**輸出額**は、タイヤ・チューブが前年を下回ったものの、半導体等電子部品が前年を上回り、全体で61.1%増と4カ月連続で前年を上回った。**輸入額**は、原油及び粗油が前年を上回り、全体で16.3%増と2カ月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】 … 緩やかに改善

5月の**有効求人倍率**は、前月と同水準の0.53倍と緩やかに改善しているが、雇用情勢は依然として厳しい。

【金融情勢】 … 低調

資金需要は、総じて弱含んでいる。

【企業倒産】 … 件数、負債総額ともに前年を上回った

6月の**企業倒産**は、件数が6件と前年同月（3件）を上回り、負債総額も大型倒産の発生により37億77百万円と前年同月（3億14百万円）を上回った。

以 上